

令和元年度障害者(児)実態・意向調査(案) 【在宅の方】

対象者: 18歳以上の身体障害者手帳・愛の手帳・精神障

カテゴリー	新規等	設問No.	調査項目	質問の意図	回答肢	備考
1 本人について		1	回答者	基本属性	1 本人 2 家族 3 その他()	
	削除	2	本人の性別		1 男性 2 女性	性別での比較分析を行わないため
	前回No3	2	本人の年齢	基本属性	年齢()歳	
	前回No5	3	年収	基本属性	1 収入はない 2 80万円未満 3 80万円以上～150万円未満 4 150万円以上～250万円未満 5 250万円以上～500万円未満 6 500万円以上～1,000万円未満 7 1,000万円以上	
	前回No6	4	収入の内訳	基本属性	1 年金(障害基礎年金など) 2 給与・報酬(企業などに就労) 3 工賃(通所施設・福祉作業所などに通所) 4 事業収入 5 手当(障害者手当など) 6 生活保護費 7 親族の扶養又は援助 8 その他()	複数選択可
	前回No7 選択肢修正	5	同居家族	基本属性	1 父親 2 母親 3 配偶者 4 子 5 兄弟・姉妹 6 祖父母 7 その他親族 8 ひとり暮らし 9 グループホーム等での集団生活 10 その他()	複数選択可
	2 障害と健康について	前回No10 選択肢修正	6	該当する疾患・障害	障害の状況把握	1 肢体不自由(上肢、下肢、体幹、脳性麻痺、移動機能障害等) 2 音声・言語・そしゃく機能障害 3 視覚障害 4 聴覚・平衡機能障害 5 内部障害(心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能等) 6 知的障害 7 発達障害 8 精神障害 9 高次脳機能障害 10 難病(特定疾病) 11 その他()
前回No12 選択肢修正		6-1	(問6で「7 発達障害」と回答した場合)該当する障害	障害の状況把握	1 広汎性発達障害 2 自閉症 3 注意欠陥多動性障害 4 アスペルガー症候群 5 学習障害 6 その他の発達障害 7 わからない	複数選択可
前回No11		6-2	(問6で「10 難病」と回答した場合)疾病名	障害の状況把握	疾病名()	
前回No4		7	手帳の種類・等級	障害の状況把握	1 身体障害者手帳(1級 2級 3級 4級 5級 6級) 2 愛の手帳(1度 2度 3度 4度) 3 精神障害者保健福祉手帳(1級 2級 3級) 4 手帳は所持していない	複数選択可

	8	家族等が障害に気づいた時期(年代)	障害に気づいた時期の把握	1 生まれたとき 2 0～5歳 3 6～17歳 4 18～29歳 5 30～39歳 6 40～49歳 7 50～59歳 8 60～64歳 9 65～69歳 10 70～74歳 11 75歳以上	
	9	(8の回答を受けて)障害に気づいたときの相談相手	相談相手の把握	1 家族 2 友人 3 学校の教職員 4 保育園・こども園・幼稚園の教職員 5 民生委員・児童委員 6 障害等の当事者会や家族の会 7 医療関係者(医師・看護師・医療相談員) 8 障害福祉課・予防対策課の窓口 9 障害福祉課・予防対策課以外の区の窓口 10 保健サービスセンター(保健師) 11 障害者基幹相談支援センター 12 子ども家庭支援センター 13 教育委員会・教育センター 14 児童相談センター(児童相談所) 15 インターネット等の情報 16 その他() 17 相談しなかった	複数選択可
前回 No17	10	受診状況(歯科診療も含む)	医療の状況把握	1 定期的に通院している 2 定期的に訪問診療を受けている 3 定期的に訪問看護を受けている 4 現在入院している 5 現在は通院していない 6 その他()	
新規	11	かかりつけ医療機関の有無	医療の状況把握	1 ある 2 ない	
前回 No15 選択肢 修正	12	(問11で「1 ある」を選択した方へ)どのような医療機関か	医療の状況把握	1 区内の診療所や医院 2 区内の歯科医院 3 区内の総合病院や大学病院 4 区外の診療所や医院 5 区外の歯科医院 6 区外の総合病院や大学病院	選択肢に「歯科」を追加。 (第1回障害者部会における意見を反映) 複数選択可
新規	13	必要な医療的ケアについて	医療的ケアの実施状況の把握	1 服薬支援 2 吸引 3 吸入・ネブライザー 4 経管栄養 5 中心静脈栄養 6 導尿 7 酸素療法 8 鼻咽頭エアウェイ 9 パルスオキシメーター 10 気管切開部の管理 11 人工呼吸器の管理 12 その他() 13 特に必要としていない	複数選択可

削除	13	(問10で「8 発達障害」を選択した方へ)問題・困難に気づいた時期		1 小学校入学前(0～5歳) 2 小学生のころ(6～12歳) 3 中学生のころ(13～15歳) 4 高校生のころ(16～18歳) 5 大学・専門学校等に入学した後(19歳以上) 6 就職した後 7 その他() 8 特に問題・困難はない	年代とのクロス集計により、「発達障害に気づいた時期」を把握できるため
前回No18 選択肢 修正	14	日常生活に必要な介助・支援	必要な介助・支援状況の把握	1 食事 2 排せつ 3 入浴 4 寝返り 5 着替え 6 調理・掃除・洗濯等の家事 7 室内の移動 8 洗顔・歯磨き 9 代筆・代読 10 電話の利用・代行 11 お金の管理 12 日常の買い物 13 通院・通学・通勤 14 通院・通学・通勤以外の外出 15 日常生活に必要な意思の伝達 16 日常生活動作の見守り 17 薬の管理 18 区役所や事業者などの手続 19 医療的ケア(喀痰吸引、経管栄養、導尿、呼吸管理等) 19 その他() 20 介助や支援は必要ない	複数選択可
削除	14	(問10で「8 発達障害」を選択した方へ)問題・困難の内容把握		1 対人関係(友人等・家族を除く) () 2 家族関係() 3 学校関係() 4 就職・仕事に関すること () 5 心身の状況に関すること () 6 その他()	設問No18「日常生活で困っていること」のクロス集計により、発達障害における困りごとについて傾向を分析できるため
前回No19 選択肢 修正	15	(介助・支援が必要な方へ)主な介助・支援者	介助者の把握	1 父親 2 母親 3 配偶者 4 子 5 兄弟・姉妹 6 祖父母 7 その他親族 8 ホームヘルパー 9 ボランティア 10 グループホームの世話人 11 その他	
新規	15-1	(問15で「1～7 家族・親族」を選択した方へ)主な介助者の年代	介助者の年代把握	1 19歳以下 2 20歳～29歳 3 30歳～39歳 4 40歳～49歳 5 50歳～59歳 6 60歳～69歳 7 70歳～79歳 8 80歳以上	
新規	16	主な介助者による他の方の介助状況	ダブルケアの状況把握	1 高齢者(両親・祖父母等)の介護 2 子ども(就学児・未就学児)の子育て 3 病気の方の介護 4 障害のある方の介護 5 その他() 6 なし	

前回 No20 選択肢 修正	17	主な介助者が支援できなくなったときの 対応	主な介助者以外 の支援の把握	1 一緒に住んでいる家族に頼む 2 別に住んでいる家族に頼む 3 居宅介護(ホームヘルプ)を利用する 4 短期入所(ショートステイ)を利用する 5 障害者施設(障害者支援施設等) 6 高齢者施設(老人ホーム等)に入所する 7 病院に入院する 8 グループホームに入所する 9 成年後見人を立てる 10 その他() 11 まだわからない	複数選択可
3 相談や福祉の情報に ついて	前回 No21 18	日常生活で困っていること	生活上の課題把握	1 健康状態に不安がある 2 着替えや食事などが十分にできない 3 家事などが十分にできない 4 介助者の負担が大きい 5 介助者が高齢化している 6 外出に支障がある 7 住まいに支障がある 8 就労について困っている 9 緊急時の対応に不安がある 10 災害時の避難に不安がある 11 人間関係に支障がある 12 障害や病気に対する周囲の理解がない 13 困ったときに相談する相手がいない 14 役所などの手続きが難しい 15 近くに、病気や障害を理解した上で診てもらえる診療所がない 16 経済的に不安がある 17 将来に不安を感じている 18 日中することがない 19 様々な人と知り合ったり、交流する機会が少ない 20 その他() 21 特にない	複数選択可
前回 No22 選択肢 修正	19	困ったときの相談相手	相談相手の把握	1 家族や親族 2 近所の人 3 友人・知人 4 民生委員・児童委員 5 障害等の当事者会や家族の会 6 身体障害者相談員・知的障害者相談員 7 ヘルパー等福祉従事者 8 施設(通所・入所)の職員 9 利用している施設の職員・グループホームの世話人 10 医療関係者(医師・看護師・医療相談員) 11 障害福祉課・予防対策課 12 障害福祉課・予防対策課以外の区の窓口 13 保健サービスセンター 14 障害者基幹相談支援センター 15 障害者就労支援センター 16 社会福祉協議会 17 地域活動センター 18 高齢者あんしん相談センター 19 その他() 20 相談する相手がいない	複数選択可

前回 No23 選択肢 修正	20	福祉の情報の入手先	情報入手先の把握	1 区の広報紙(区報等) 2 区のホームページ 3 文の京・障害者福祉のてびき 4 区の窓口 5 保健サービスセンター 6 テレビ・ラジオ 7 インターネット 8 新聞・書籍 9 障害等の当事者会や家族の会 10 医療機関 11 その他() 12 特にない	複数選択可
前回 No24	21	今後希望する生活	将来希望する生活把握	1 地域で独立して生活する 2 親や親族と一緒に生活する 3 グループホームで生活する 4 区内の入所施設(障害者支援施設)で生活する 5 区外でも良いので入所施設(障害者支援施設)で生活する 6 高齢者施設(老人ホーム等)で生活する 7 わからない	
削除	25	(問24で「グループホーム」と回答した場合)何年後に入居したいか		1 1年未満 2 1年以上～3年未満 3 3年以上～5年未満 4 5年以上～10年未満 5 10年以上～20年未満 6 20年以上 7 わからない	対象者の大半が現年齢に近い年代で入居を希望していることが把握できているため
前回 No26 選択肢 修正	22	地域で安心して暮らすために必要な施策	地域生活のための課題把握	1 障害に対する理解の促進 2 医療機関サービスの充実 2 医療やリハビリテーションの充実 3 幼少期・学齢期からの教育・育成の充実 4 雇用・就労支援体制の充実 4 働くための訓練・就労に向けた支援の充実 5 仕事を継続するための支援の充実 6 相談支援の充実 6 身近な地域で相談できる場の充実 7 訪問系サービス(居宅介護・重度訪問介護・同行援護等)の充実 8 日中活動系サービス(生活介護・自立訓練・就労移行支援・就労継続支援等)の充実 9 短期入所(ショートステイ)の整備 10 意思疎通支援(手話通訳者・要約筆記者派遣)の充実 11 福祉機器・補装具などの充実 12 グループホームの整備 13 入所施設の整備 14 障害者向けの住まいの確保 15 居住支援の充実 16 建物・道路等のバリアフリー化 17 当事者同士で支援し合える仕組みづくり 18 趣味やスポーツ活動の充実 19 財産管理や見守り等の支援 20 経済的支援の充実 21 災害時支援の充実 22 地域交流の場の充実 23 福祉・医療・介護との連携の充実 24 その他() 25 特にない	複数選択可

	削除	27	「こころのバリアフリー」推進のために必要なこと		<ul style="list-style-type: none"> 1 障害や障害者の生活を伝えるパンフレットの発行 2 障害者作品展やイベントの開催 3 地域や学校等で交流の機会を増やすこと 4 地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと 5 学校や生涯学習での障害に関する教育や情報提供 6 障害についての講演会や疑似体験会の開催 7 障害者の一般就労の促進 8 その他() 9 特になし 	設問No37に統合するため
4 福祉サービスについて	前回No28 選択肢修正	23	今後利用したい、現在利用しているサービスについて	サービス利用状況・利用意向の把握	<ul style="list-style-type: none"> A 現在利用している(利用していれば〇) B 利用満足度(満足～普通～不満足で5段階) C B欄で「やや不満」「不満」を選択した方について、下記1～9から理由を選択 D 今は利用していないが今後利用したい <p>[C欄]理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 利用できる回数や日数等が少ない 2 利用料が高い 3 サービス提供事業所が少ない 4 利用日時が合わない 5 サービス内容(質)に不安を感じる 6 サービス提供事業所の対応が良くない 7 事業所と家族の連携が取れていない 8 医療的ケアの対応が十分でない 9 その他() 	
	23-①	(1)障害福祉サービス(訪問系) 居宅介護、重度訪問介護、同行援護など				
	23-②	(2)障害福祉サービス(日中活動系) 生活介護、就労移行支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型など				
	23-③	(3)障害福祉サービス(居住系) グループホーム、施設入所支援				
	23-④	(4)障害福祉サービス(相談支援) 地域相談支援、計画相談支援				
	23-⑤	(5)地域生活支援事業 移動支援、日常生活用具、日中短期入所、地域活動支援センターなど				
	23-⑥	(6)日常生活のサービス 福祉タクシー、短期保護、医療的ケア児在宅レスパイト事業				
	23-⑦	(7)就労に関する支援 就労支援事業				
	23-⑧	(8)精神障害者を対象とした支援 地域生活安定化支援事業など				
	23-⑨	(9)難病患者に対する支援 難病リハビリ教室など				
	23-⑩	(10)その他 障害者(児)歯科診療、在宅療養者等歯科訪問健診・予防相談指導事業、成年後見制度支援事業など				
	新規	24	(問23で「A 現在利用している」を選択した方へ)サービス提供事業者に望むこと	サービス上の課題把握	<ul style="list-style-type: none"> 1 サービス利用契約に関する十分な説明 2 希望する曜日・時間帯に確実に利用できること 3 サービス従事者(ホームヘルパー、施設職員など)の質の確保 4 満足できるサービスを提供できる体制の確保 5 その他() 6 特になし 	
	新規	25	(問23で「A 現在利用している」を選択した方へ)どのようにサービス等利用計画を作成したか	サービス等利用計画の実態把握	<ul style="list-style-type: none"> 1 特定相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼している 2 自分たち家族や支援者とセルフプランを作成している 3 介護保険と障害福祉サービスの併給を受けているので、ケアマネージャーにケアプランの作成を依頼している 	
	前回No32 選択肢修正	26	(サービス等利用計画を作成した方に対して)作成して満足したこと	サービス等利用計画作成上の課題把握	<ul style="list-style-type: none"> 1 相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた 2 希望どおりのサービス等利用計画ができた 3 サービス等利用計画の計画内容に満足している 4 再び支援が必要となった場合にはサービス等利用計画を作成したい 5 サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所の支援を受けることができた 6 サービス等利用計画の内容が具体的に分かりやすかった 7 課題解決に向けて自分が取り組むべきことが明確になった 8 その他() 9 特になし 	相談支援専門部会からの意見を反映 複数選択可
	前回No32 選択肢修正	27	(サービス等利用計画を作成した方に対して)作成して満足できなかったこと	サービス等利用計画作成上の課題把握	<ul style="list-style-type: none"> 1 相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれなかった 2 希望どおりのサービス等利用計画ができなかった 3 サービス等利用計画の計画内容に不満がある 4 再び支援が必要となった場合でもサービス等利用計画は作成したくない 5 サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所の支援を受けることができなかった 6 サービス等利用計画の内容が分かりにくかった 7 課題解決に向けて自分が取り組むべきことが明確にならなかった 8 その他() 9 特になし 	相談支援専門部会からの意見を反映 複数選択可
					<ul style="list-style-type: none"> 1 相談支援事業所にサービス等利用計画の作成を依頼することが手間だったため 2 身近にサービス等利用計画を作成する相談支援事業所が見つからなかったため 	

新規	28	(問25で「2セルフプラン」を選択した方へ)セルフプランとした理由	サービス等利用計画作成上の課題把握	3 障害福祉サービスを早く利用したかったため 4 家族等の協力を得てセルフプランを作成することが可能だったため 5 自分でセルフプランを作成することが可能だったため 6 その他()	
新規	29	(障害福祉サービス等を利用していない方へ)サービスを利用していない理由	サービス上の課題把握	1 サービスを利用する必要がないから 2 利用したいサービスがないから 3 家族が介助してくれるから 4 家族以外に介助してもらうことに不安があるから 5 施設・サービスが空くのを待っている 6 緊急時に利用したい 7 利用料が高い 8 障害福祉サービスがあることを知らない 9 その他()	
新規	30	(40歳以上の方全員に対して)介護保険サービスの利用の有無	介護保険との併用者の把握	1 訪問介護(ホームヘルプ) 2 通所介護(デイサービス) 3 短期入所(ショートステイ) 4 その他() 5 介護保険サービスを利用していない	
削除	29	サービス利用で困っていること		1 サービスに関する情報が少ない 2 区役所での手続きが大変 3 利用できる回数や日数が少ない 4 事業者との利用日等の調整が大変 5 サービスの質が良くない 6 利用したいサービスが利用できない 7 利用者負担が大きい 8 特にない 9 その他()	設問No23に統合するため
削除	30	介護保険の要支援・要介護認定の有無		1 要支援・要介護認定を受けており、介護保険サービスを利用している 2 要支援・要介護認定を受けてるが、介護保険サービスを利用していない 3 介護保険が利用できる年齢だが、要支援・要介護認定を受けていない 4 介護保険が利用できる年齢に到達していない	設問No29に統合するため
削除	31	(障害福祉サービスを利用している方に対して)サービス等利用計画の作成について		1 相談支援事業者の相談支援専門員にサービス等利用計画を依頼したい 2 セルフプランを自分や家族で作成したい 3 通所施設の職員など福祉の知識のある身近な人が支援してくれたら、自分や家族でセルフプランを作成したい 4 まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員に相談したい 5 サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない	設問No25に統合するため
削除	32	(サービス等利用計画を作成したことがある方に対して)作成した感想		1 ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた 2 サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた 3 サービス等利用計画の内容が具体的に分かりやすかった 4 相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた 5 課題解決に向けて自分が取り組むべきことが明確になった 6 サービス等利用計画にニーズが適切に反映されなかった 7 サービス等利用計画の内容が分かりにくかった 8 相談支援専門員の説明が分かりにくかった 9 制度そのものが分かりにくかった 10 特にない 11 その他()	設問No26-①、②に統合するため

5 日中活動や外出について	前回 No33 選択肢 修正	31 平日の日中の過ごし方	日中生活の現状把握	1 (一般枠で)正社員・正職員として働いている 2 (障害者枠で)正社員・正職員として働いている 3 (一般枠で)契約社員として働いている 4 (障害者枠で)契約社員として働いている 5 パート・アルバイトなどで働いている 6 自営業・家業の手伝いなどで働いている 7 福祉施設等に通っている 8 大学・専門学校などに通っている 9 職業訓練校(職業能力開発センター等)に通っている 10 ハローワーク等に通って求職活動をしている 11 自宅で家事をしている 12 育児をしている 13 休職中 14 その他() 15 特に何もしていない	
	新規	31-1 (問31で1~7を選択した方へ)給与・工賃の月額	経済状況の把握	1 1万円未満 2 1万円以上~3万円未満 3 3万円以上~5万円未満 4 5万円以上~10万円未満 5 10万円以上~15万円未満 6 15万円以上~20万円未満 7 20万円以上	
	新規	31-2 (問31で1~6を選択した方へ)仕事の内容	仕事内容の把握	1 事務の仕事 2 販売・接客の仕事 3 パソコンを使った仕事 4 医療・福祉の仕事 5 教育関係の仕事 6 倉庫等の商品管理や発送の仕事 7 清掃の仕事 8 調理、食品、厨房内の仕事 9 店舗、バックヤードの仕事 10 農産物等の栽培の仕事 11 自宅での仕事(テレワーク) 12 その他() 13 わからない	
	新規	31-3 (問31で1~6を選択した方へ)仕事の勤務時間(週当たり)	勤務時間の把握	1 週に40時間以上 2 週に20時間以上~40時間未満 3 週に20時間未満 4 その他()	
前回 No34 選択肢 修正	31-4	(問31で1~6を選択した方へ)仕事で困っていること	仕事上の課題把握	1 収入が少ない 1 賃金や待遇面で不満がある 2 体力的につらい 2 仕事中の体調の変化に不安がある 3 精神的につらい 3 調子が悪いときに休みが取りにくい 4 労働時間や日数に不満がある 5 通勤が大変である 6 職場の人間関係がうまくいかない 7 職場に相談できる人や援助者がいない 8 職場の障害理解が不足している 8 職場環境が障害に対応していない 9 トイレなど職場の設備が不十分 10 周囲の目が気になる 9 仕事を覚えるのが遅く、叱られる 11 自分の考えや思ったことを伝えられない 10 その他() 12 能力に応じた評価、昇進の仕組みがない 11 特にない 13 仕事の内容が合っていない 14 その他() 15 特にない	複数選択可

新規	31-5	(問31で「7 福祉施設等に通っている」を選択した方へ)福祉施設に通所する上で困っていること	サービス上の課題把握	1 サービスの内容が自分に合っていない 2 作業時間や日数に不満がある 3 工賃に不満がある 4 訓練や作業をする上での配慮が不足している 5 他の利用者との人間関係がうまくいかない 6 通うのが大変である 7 トイレなど施設の整備が不十分 8 相談できる人や援助者がいない 9 作業中の体調の変化に不安がある 10 自分の考えや思ったことが伝えられない 11 その他() 12 特にない	
前回 No35	31-6	(問31で「15 特に何もしていない」を選択した方へ)その理由	就労・通所以外の生活状況の把握	1 障害の程度や症状のため 2 高齢のため 3 職場の人間環境に不安があるため 4 職場の障害理解に不安があるため 5 職場や活動の場に通うのが困難なため 6 周囲から止められているため 7 自分に合った仕事がないため 8 自分に合った活動の場がないため 9 働く自信がないため 10 働く必要がないため 11 働ける場所があるかわからない 12 その他() 13 特に理由はない	複数選択可
新規	32	就労のために希望する支援	就労上の課題把握	1 就労に向けての相談支援 2 就労継続に向けての相談支援 3 障害のある人が働く企業等の見学 4 企業等での体験実習 5 自立や社会参加を目的とした就労訓練の場 6 就労意欲向上のためのプログラム 7 求職活動の支援 8 自分に合った仕事を見つける支援 9 ビジネスマナーなどを学ぶ機会 10 履歴書の作成や面接への同行支援 11 企業等での短時間(1日2時間程度)雇用の推進 12 企業等における障害理解の推進 13 その他() 14 特にない	
前回 No37	33	休日の過ごし方	余暇活動の把握	1 趣味や学習活動 2 スポーツ・運動 3 ボランティア活動 4 友人・知人と会う 5 演劇や映画の鑑賞 6 買い物 7 飲食店に行く 8 読書 9 旅行 10 家でくつろぐ 11 地域の行事への参加 12 近所の散歩 13 その他() 14 特に何もしない	複数選択可
前回 No38	34	外出の頻度	外出頻度の把握	1 ほぼ毎日 2 週に3~4回 3 週に1~2回 4 月に1~3回 5 あまり外出しない	

	前回 No39 選択肢 修正	35	外出の際に困っていること	外出時の課題把握	<ul style="list-style-type: none"> 1 歩道の段差や傾斜 2 建物の段差や階段 3 バスやタクシーの利用 4 駅構内の移動や乗り換え 5 券売機の利用 6 トイレの利用 7 歩道の上に障害物が多い 8 7 歩道がせまい・障害物がある 9 疲れたときの休憩場所 10 自動車・自転車で危険を感じる 11 10 スマホのながら歩きに危険を感じる 12 外出するのに支援が必要である 13 外出したくても介助者がいない 14 13 周囲の人の理解や配慮がない 14 その他() 15 特にない 	複数選択可
6 住まいについて	前回 No40 選択肢 修正	36	住まいで困っていること	住居での課題把握	<ul style="list-style-type: none"> 1 1 玄関などの段差 2 1 建物のバリアフリーに問題 3 2 階段の昇り降り 4 3 廊下や出入口が狭い 5 4 風呂が使いにくい 6 5 トイレが使いにくい 7 6 手すりが無い 8 建物の老朽化 9 家賃など住宅費の負担 10 4 近隣住民とのトラブル 11 5 転居したいがサポートがないと難しい 12 6 周りに相談できる人がいない 13 7 入居を断られたことがある 8 その他() 9 特にない 	設問は残し、選択肢の内容を深める。 (第1回障害者部会における意見を反映) 複数選択可
	前回 No41 選択肢 修正	37	住まいに必要な支援	住居に関する課題把握	<ul style="list-style-type: none"> 1 住宅改造費用の貸付・助成 2 家具転倒防止や耐震化など災害対策 3 公営住宅への優先入居の拡充 4 民間賃貸住宅の入居支援 5 グループホームなどの整備 6 6 住居探しのサポート体制の整備 7 その他() 8 特にない 	設問は残し、選択肢の内容を深める。 (第1回障害者部会における意見を反映) 複数選択可
	新規	38	障害者の差別解消を進めていくために必要なこと	障害理解への要望把握	<ul style="list-style-type: none"> 1 1 障害者差別に関する相談・紛争解決の体制整備 2 2 障害者差別解消に向けた取組に関わる情報の提供・発信 3 3 障害者差別解消法に係るセミナー・研修等の開催 4 4 障害者差別解消法の趣旨や障害理解に関するリーフレット等の発行 5 障害者作品展や障害者と交流するイベントの開催 6 地域や学校等で交流の機会を増やすこと 7 地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと 8 学校や生涯学習での障害に関する教育や情報 9 障害についての講演会や疑似体験会の開催 10 障害者の一般就労の促進 11 ヘルプマーク・ヘルプカードの周知・啓発 12 その他() 13 特にない 	複数選択可
	削除	42	合理的配慮を進めるために必要なこと		<ul style="list-style-type: none"> 1 1 区民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発 2 2 障害者差別解消法に係るセミナーの開催 3 3 障害当事者を講師とした区民・民間事業者向けの研修 4 4 筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション手段の設置 5 5 意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器(タブレット端末等)等の活用 6 6 ヘルプマーク・ヘルプカードの周知・啓発 7 特にない 8 その他() 	設問No37へ統合するため削除

8 災害対策について	前回 No43	39	災害発生時に困ること	災害への準備状況把握	1 災害の情報を知る方法がわからない 2 助けを求める方法がわからない 3 避難所の場所がわからない 4 近くに助けてくれる人がいない 5 一人では避難できない 6 避難所の設備が障害に対応しているか不安 7 避難所で必要な支援が受けられるか不安 8 避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい 9 薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安 10 医療機器の電源確保が心配 11 その他() 12 特にない	複数選択可
	前回 No44	40	災害に対する備え	災害への準備状況把握	1 日頃から家族で災害時の対応を話し合っている 2 非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄(3日分程度)をしている 3 疾病等で必要なく薬や医療機関の連絡先などを備えている 4 近所の人や知人等に、災害が発生したときのお願いをしている 5 文京区の「避難行動要支援者名簿」に登録している 6 家具に転倒防止器具を取り付ける 7 住居の耐震診断を受け、必要な補強を行っている 8 区民防災組織(町会・自治会)や消防団等に参加している 9 地域の防災訓練や勉強会・セミナー等に参加している 10 その他() 11 特にない	複数選択可
9 自由意見	前回 No45	41	意見・要望			

